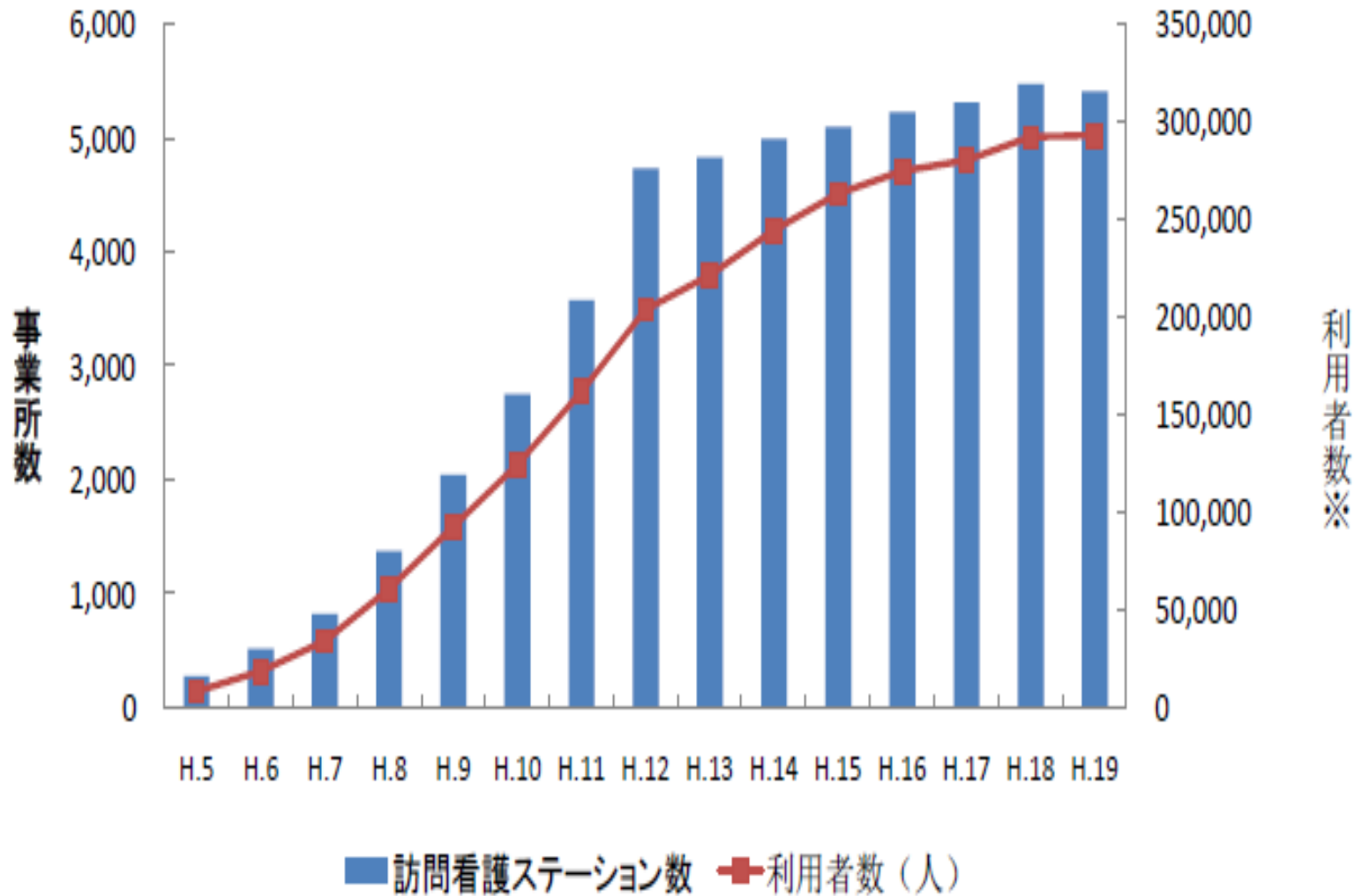
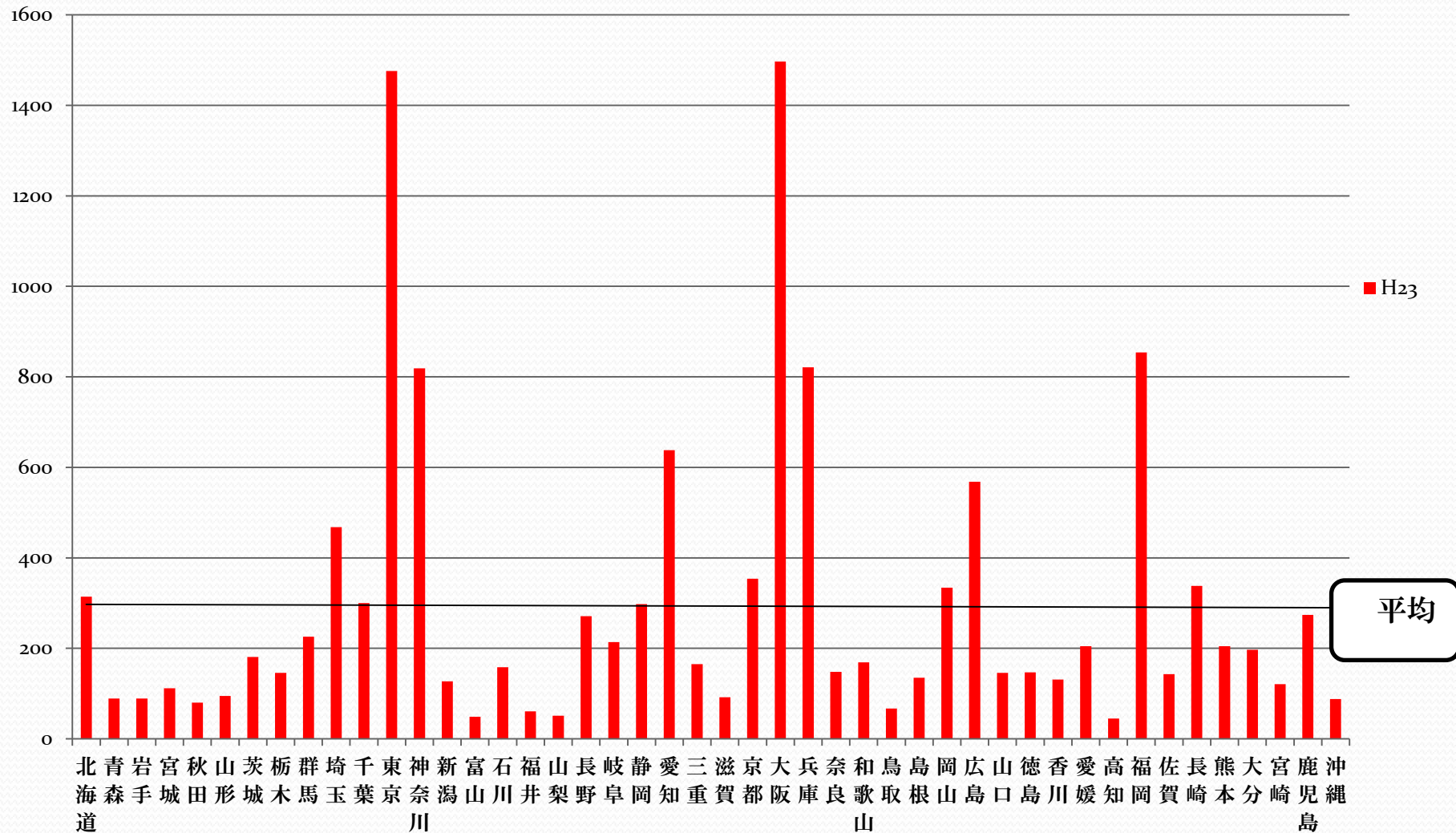


訪問看護ステーションの推移



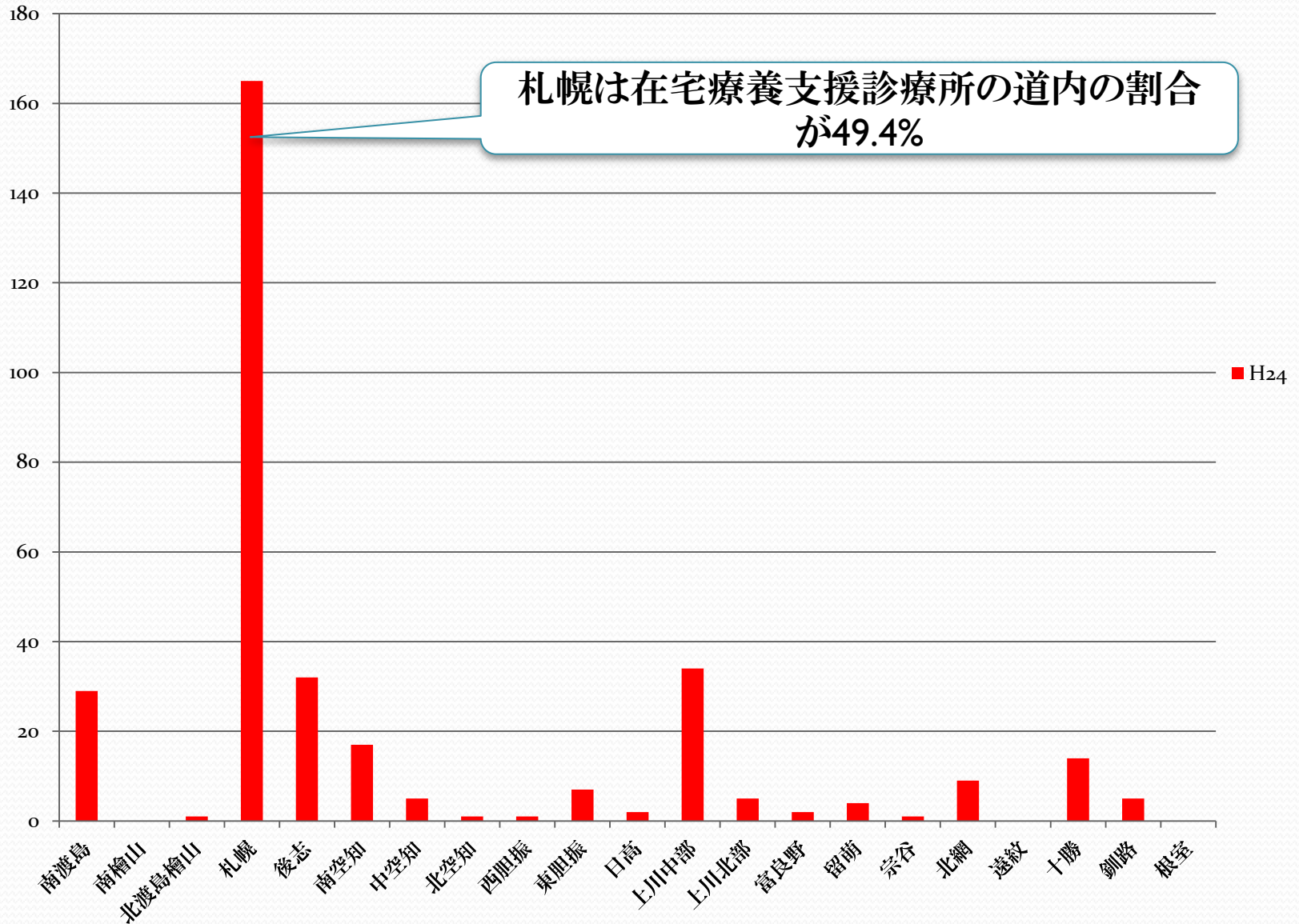
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/11/dl/s1111-5i-02.pdf>

都道府県別に見た在宅療養支援診療所数



厚生労働省医療施設(静態・動態)調査・病院報告を参考に報告者作成

北海道の2次医療圏別に見た在宅療養機支援診療所数



厚生労働省医療施設(静態・動態)調査・病院報告を参考に報告者作成

3. 先行事例の紹介

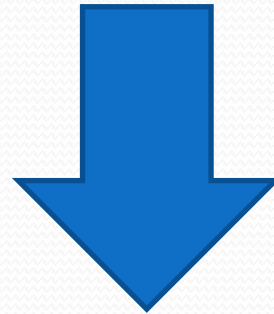
～長崎の例～

背景

- 全国在宅死亡率→12.4%
- 2003年長崎の在宅死亡率→ 7.5%
- 2003年3月長崎Dr.ネットを開設
- 2004年長崎の在宅死亡率→ 9.0%

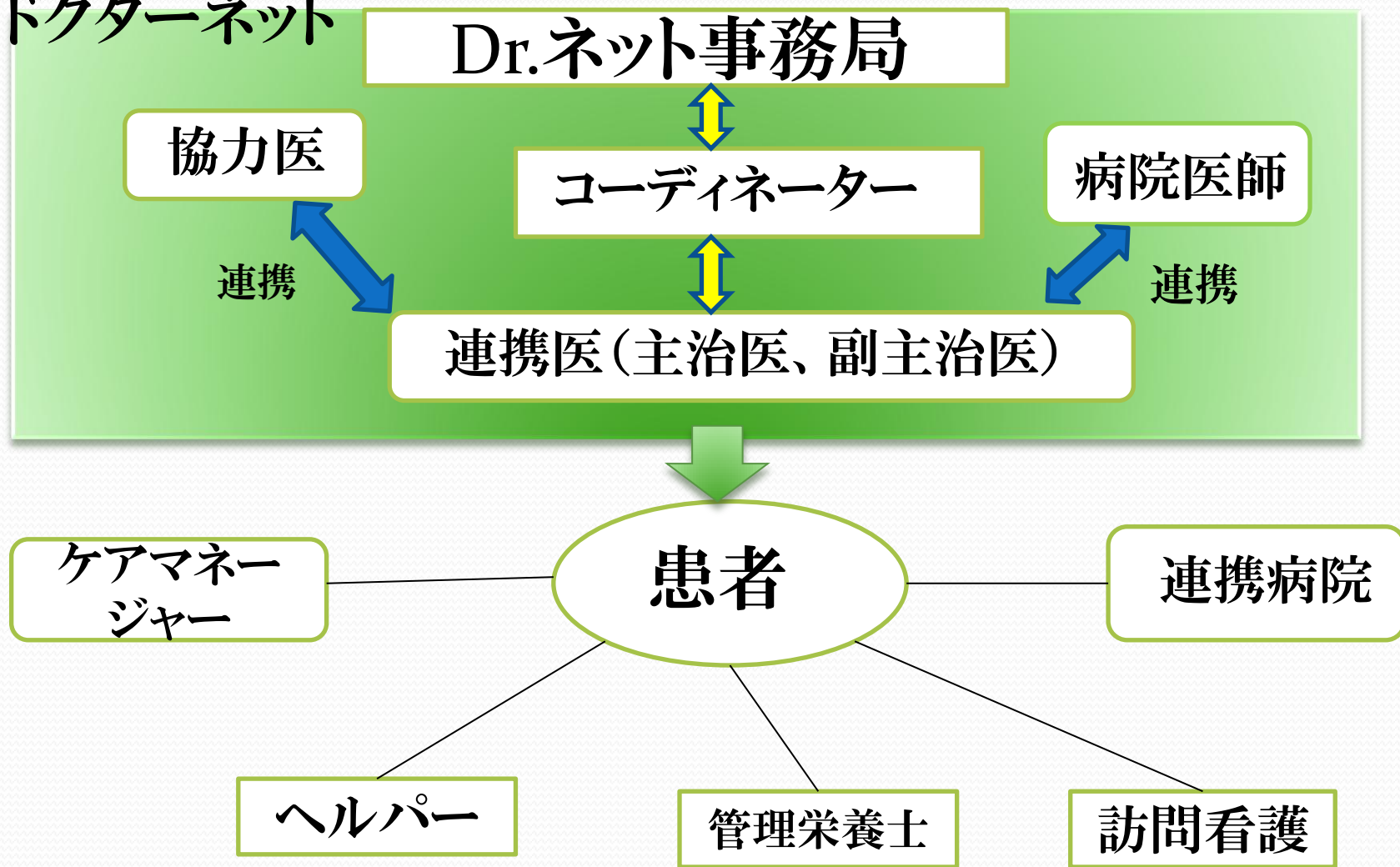
長崎Dr.ネット

- 近隣の開業医同士の連携
- 参加するメンバーで連絡の取り合いを徹底



- 互助的運用が可能に
- 2009年在宅死亡率は10.1%に上昇

ドクターネット



(認定NPO法人長崎在宅Dr.ネットを参考に報告者作成)

新しい動き

- 地域限定での少人数での連携
- メーリングリストの試み
- 病院カンファレンスへの在宅医の参加

4.在宅医療を推進する上での課題

- ・人材の不足・確保
- ・在宅医療技術の普及
- ・医療機関の中での連携体制



在宅医療連携拠点事業

- 高齢化、価値観の多様化に伴い、自分らしく過ごす「生活の質」を重視する医療が求められている。
- 在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、医療の提供を目指すモデル事業。